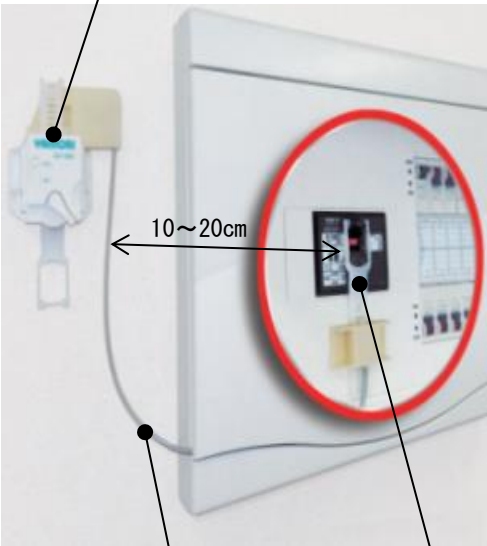
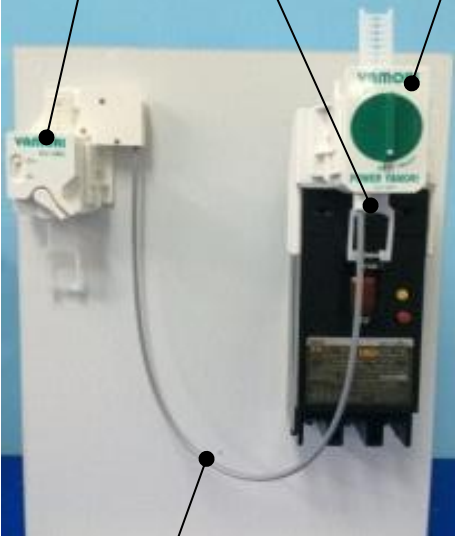
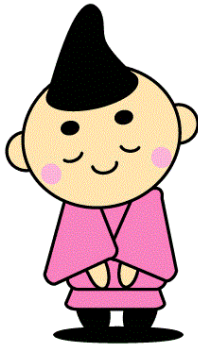


●感震ブレーカー比較一覧表（分電盤に設置するタイプ）

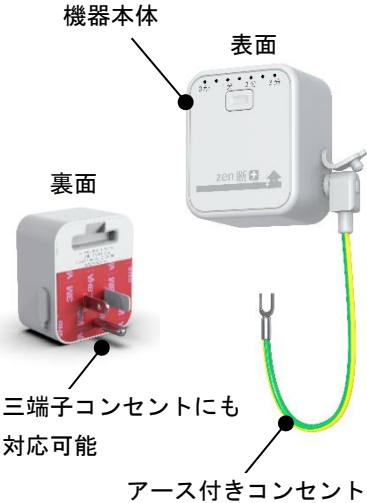
機器番号	①	②	③	④
機種名	ヤモリ	ヤモリ・デ・セット	パワーヤモリセット	ピオマ
設置箇所	分電盤	壁+分電盤	壁+分電盤	壁+分電盤
機器写真				
参考価格 ※Ⅰ	3,080 円	5,830 円	9,570 円	10,780 円
自己負担額	1,080 円	2,830 円	6,570 円	7,780 円
遮断のタイミング	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知して 3 分後に遮断
寸法 (mm) 幅×高さ×厚み	機器本体:66×145×55	機器本体:90×150×55 ワイヤー長さ:480	機器本体:90×150×55 遮断機:66×150×55	機器本体:62×87×47 遮断機:67×67×31
設置方法	①機器本体を両面テープで分電盤に貼付ける ②付属のバンドをブレーカーレバーにひっかけて設置 ※付属のアルコールパッドで接着部分をきれいにする際、アルコールが乾いてから貼付てください	①両面テープで機器本体を壁に、バンド部分を分電盤に貼付け ②付属のバンドをブレーカーレバーにひっかけて設置 ※付属のアルコールパッドで接着部分をきれいにする際、アルコールが乾いてから貼付てください	①両面テープで機器本体を壁に、遮断機を分電盤に貼付ける ②遮断機のバンドをブレーカーレバーにひっかけて設置 ※付属のアルコールパッドで接着部分をきれいにする際、アルコールが乾いてから貼付てください	①機器本体を木ネジで壁に取り付け、遮断機を両面テープで分電盤に貼付ける ②遮断機のバンドをブレーカーレバーにひっかけて設置
特徴	●設置が簡単 ☺蓋付きの分電盤の場合、蓋が閉まらない（動作に影響はありません）	●設置が簡単 ☺機器本体とバンドをワイヤーで繋いで分離し、蓋付きの分電盤の蓋がほぼ閉まる ☺機器本体を両面テープで壁に貼り付けるため、土壁や砂壁等、壁の材質によっては設置できない	●設置が簡単 ☺蓋付きの分電盤の場合、蓋が閉まらない（動作に影響はありません） ☺機器本体を両面テープで壁に貼り付けるため、土壁や砂壁等、壁の材質によっては設置できない ●契約アンペア 75A 以上等ブレーカーレバーが硬いものにも使用できる	☺蓋付きの分電盤の場合、蓋が閉まらない（動作に影響はありません） ☺機器本体をネジで壁に取り付けるため、壁に穴があく ●遮断まで3分の猶予があり、避難時の照明が確保できる
昨年度設置実績	約62%（第①位）	約7.2%（第③位）	約0%	約0.8%

※Ⅰ 参考価格は変動する場合があります。価格の変動があった場合、市のホームページを随時更新してまいりますので、最新の価格は市のホームページにてご確認ください。

取り付け後は、定期的に設置状態、動作の確認をお願いします。



●感震ブレーカー比較一覧表（アース付き（もしくは三端子付き）コンセントに設置するタイプ）

機器番号	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
機種名	Ki 感震センサー （アース線タイプ）	Ki 感震センサー （三端子タイプ）	震太郎	一発遮断	瞬断	ZEN断+
設置箇所	アース付きコンセント	三端子コンセント	アース付き or 三端子コンセント	アース付きコンセント	アース付きコンセント	アース付き or 三端子コンセント
機器写真						
参考価格 ※1	7,040 円	7,480 円	10,780 円	6,380 円	6,380 円	6,380 円
自己負担額	4,040 円	4,480 円	7,780 円	3,380 円	3,380 円	3,380 円
遮断のタイミング	揺れを感知して 3 分後に遮断	揺れを感知して 3 分後に遮断	揺れを感知して 3 分後に遮断	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知して 0 秒～3 分の間に遮断
寸法 (mm) 幅×高さ×厚み	機器本体:30×110×40	機器本体:110×30×40	機器本体:62×90×32	機器本体:74×56×36	機器本体:45×45×32	機器本体:50×60×33
設置方法	①機器本体を木ネジ（壁が石膏ボードの場合アンカー+木ネジ）で壁に取り付ける ②アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む	①機器本体を木ネジ（壁が石膏ボードの場合アンカー+木ネジ）で壁に取り付ける ②三端子コンセントにプラグを差し込む	①三端子コンセントにプラグを差し込むか、アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む	①機器本体を木ネジで壁に取り付ける ②アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む	①機器本体裏面の両面テープの剥離紙を剥がす ②アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む	①機器本体裏面の両面テープの剥離紙を剥がす ②アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込むか、三端子コンセントにプラグを差し込む
特徴	🔴遮断まで3分の猶予があり、 <u>避難時の照明が確保</u> できる 🟡機器本体をネジで取り付けるため、 <u>壁に穴があく</u>	🔴遮断まで3分の猶予があり、 <u>避難時の照明が確保</u> できる 🟡機器本体をネジで取り付けるため、 <u>壁に穴があく</u>	🔴遮断まで3分の猶予があり、 <u>避難時の照明が確保</u> できる 🔴機器本体を壁にネジで取り付ける必要がないため <u>壁に穴があかない</u>	🟡機器本体をネジで取り付けるため、 <u>壁に穴があく</u>	🔴機器本体を壁にネジで取り付ける必要がないため <u>壁に穴があかない</u>	🔴遮断までの時間を0秒～3分の間で30秒ごとに設定でき、 <u>避難時の照明が確保</u> できる 🔴壁にネジで取り付ける必要がないため <u>壁に穴があかない</u> 🔴上部のボタンを3秒間押し続けると <u>動作をキャンセル</u> できる
昨年度設置実績	約4.2%	約0.4%	約3.6%	約0%	約21.8%（第②位）	新機器

※1 参考価格は変動する場合があります。価格の変動があった場合、市のホームページを随時更新してまいりますので、最新の価格は市のホームページにてご確認ください。

※2 コンセントに設置するタイプの感震ブレーカーは、震度5強以上の強い揺れを感知すると疑似的に漏電を発生させ、分電盤の漏電ブレーカーを作動させることにより、ご自宅への電気の供給を遮断します。
ご家庭のコンセントをご確認いただき、アース付きや三端子付きコンセントに、空きがあれば取り付けることができます。